



# 2024年度 「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)」の実施に係る国際連携及び情報 発信等事業

## 公募説明会 資料

**公募期間：2023年1月26日（金）～2月26日（月）正午**

※Teamsのマイク、カメラはOFFでお願いします。  
※質疑の際はTeamsの挙手機能をご利用ください。

NEDO 国際部

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

# 目次

※本資料は、公募要領、仕様書等から抜粋して作成しています。  
公募ホームページの「資料」を正としてご参照下さい。

<b><u>I. ICEF概要</u></b>	-----	p.2-9
<b><u>II. 公募概要</u></b>	-----	p.12-18
<b><u>III. 委託先の選定</u></b>	-----	p.19-22
<b><u>IV. 仕様書概要</u></b>	-----	p.23-33
<b><u>V. 提案書作成に関する補足説明</u></b>	-----	p.34
<b><u>VI. 問い合わせ先</u></b>	-----	p.35

- 経済産業省が主催する、エネルギー・環境関連の国際会議を集中的に開催する「東京GXウィーク」の中の一つ
- 地球温暖化問題を解決する鍵である「イノベーション」を推進するため、世界の産学官のリーダーが議論する知のプラットフォームとして、2014年から日本で毎年開催している国際会議
- 最先端の知見を世界に発信し、気候変動の脅威に対する人々の意識を高め、行動変容の促進を目指す
- 多様化がイノベーションの源泉であるという認識の下、ジェンダー平等と若手世代の参画を推進
- 主催：経済産業省・NEDO
- 共催：外務省、文部科学省、農林水産省、環境省
- 協賛：国際エネルギー機関（IEA）、国連工業開発機構（UNIDO）、BloombergNEF



ICEF2023の様子

## ICEF運営委員（2023年年次総会開催時点）

国内外の有識者によるICEF運営委員会を構成し、ICEF年次総会の企画・運営等を実施

委員長



田中 伸男  
ICEF運営委員長  
元国際エネルギー  
機関(IEA)事務局  
長



アドナン・アミン  
ハーバード大学ケネディ  
スクールシニアフェロー  
元国際再生エネルギー  
機関(IRENA)事務局  
長



サリー M. ベンソン  
ホワイトハウス科学  
技術政策局  
副所長・最高戦略責  
任者



ウー・チャンホウ  
ジェレミー・リフキンオフィス  
中国ディレクター  
中国環境専門家協会  
(PACE) 事務局長



ゲオルク・エアトマン  
ベルリン工科大学退官教  
授



エイヤ=リイタ・  
コーホラ  
元欧州議会メンバー



黒田 玲子  
中部大学総合工学  
研究所特任教授・  
東京大学名誉教授



ホーセン・リー  
気候変動に関する政府間  
パネル (IPCC) 議長  
高麗大学エネルギー環境  
大学院 寄付基金教授



リチャード・レスター  
マサチューセッツ工科大  
学副学長



ヴィクラム・メータ  
センター・フォー・ソー  
シャル・アンド・エコノミ  
ック・プログレス(CSEP)  
研究財団 会長



ジョン・ムーア  
ブルームバーグNEF  
CEO



パリー・ムーサ  
南アフリカ大統領気  
候委員会 副議長  
元南アフリカ共和国  
環境大臣



ネボイシア・  
ナキチェノヴィッチ  
2050年の世界  
(TWI2050)事務局長



デービッド・サンダロー  
元米国エネルギー省次官  
代行、  
コロンビア大学世界エネ  
ルギー政策センター創立フ  
ロ-



イスマイル・  
セラゲルディン  
アレキサンドリア図書  
館創立名誉館長



バーツラフ・シュミル  
マニトバ大学特別名誉教授



山地 憲治  
地球環境産業技術  
研究機構理事長、  
東京大学名誉教授

- 日時：2023年10月4日（水）、5日（木）（10月3日（火）にICEF運営委員会を開催）
- 場所：ホテル・ニューオータニ東京（オンライン同時配信のハイブリット形式で開催）
- メインテーマ：Innovation for Just, Secure and Sustainable Global Green Transformation (GX)
- 参加登録数：79ヶ国・地域から約1,700人（対面約700人、オンライン約1,000人）
- セッション数：21（開会式、キーノート、プレナリー、コンカレント、閉会式等）
- 登壇者数：約90名
- 成果物：①ICEF運営委員によるステートメント、②ICEFロードマップ（AIによる気候変動緩和）



ICEF2023の様子

- ICEF運営委員によるメッセージをステートメントとして、年次総会本番に発表
- 2018年度のICEFから本文に加えて、インフォグラフィックスも発表

## ICEF2023 ステートメント

<https://www.icef.go.jp/jp/statement/>

**ICEF2023 Statement from the Steering Committee**  
October 5, 2023

**I. ICEF's 10<sup>th</sup> Anniversary**

The 2023 Innovation for Cool Earth Forum or ICEF celebrates its 10<sup>th</sup> anniversary. Taking this memorable opportunity, the Steering Committee is issuing the following special statement, looking back at the journey travelled collectively in the past nine years and looking forward to the next decade.

*1. What we have achieved since the ICEF inaugural annual meeting in 2014*

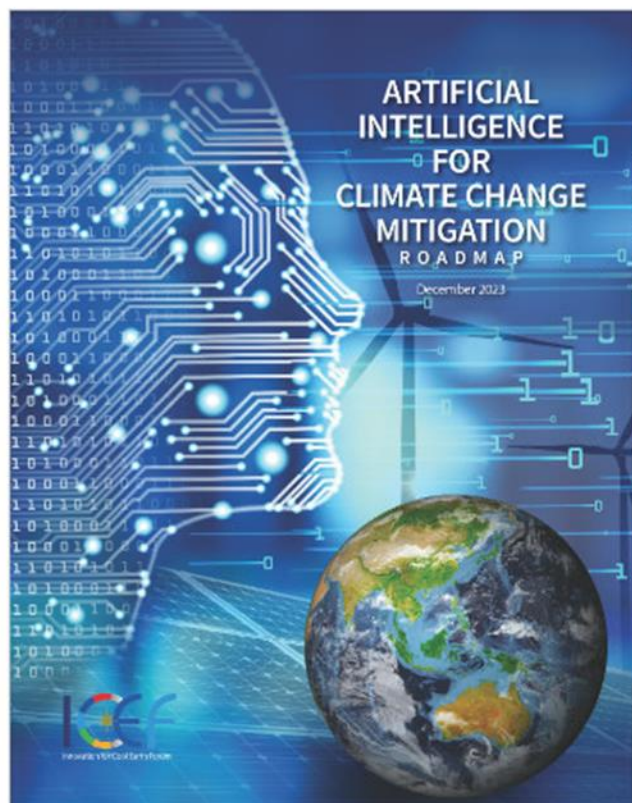
- In 2014, ICEF was initiated by Japan's late former Prime Minister Abe Shinzo, who "proposed the establishment of a new international conference where the world's leading policy makers, businesspersons, and researchers can meet and cooperate with each other to address climate change through innovation". He participated in the first annual meeting, which, he stated, was "an unprecedented attempt, an energy- and environment-focused version of the World Economic Forum."
- One of the early achievements of ICEF was helping shape the Paris Agreement, by highlighting the importance of innovation in the negotiations that led to the success of COP21 in 2015.
- In 2016, ICEF championed the ambitious goal of achieving "at least net-zero anthropogenic CO<sub>2</sub> emissions." Since then, ICEF's continuous advocacy for this goal has contributed to many countries, sub-national entities and companies pledging to achieve net-zero emissions around the mid-century.
- Since its inception, ICEF's consistent message has been that innovation, both technological and social, is essential to addressing climate change. With this belief in mind, ICEF has elaborated on the roles of both the public and private sectors. International cooperation has also become a central theme.
- Since 2017, ICEF's strong creed has been that diversity, inclusiveness and justice must be enhanced to address the social and governance aspects of climate change. At ICEF conferences, a balanced participation including youth and women has been realized and led to multi-faceted discussions.
- ICEF has consistently adopted a technology-neutral approach to decarbonization, including discussion of renewables, sustainable nuclear power, carbon capture and storage, and new end-use technologies across all sectors.

1



- カーボンニュートラル達成に向けて短期的・長期的に貢献する主要な革新的技術の道筋、手法を提言するロードマップを作成
- ドラフト版をICEF年次総会で発表し、COPで最終版を発表

ICEF 2023 ロードマップ：「人工知能(AI)と気候変動緩和」 <https://www.icef.go.jp/jp/roadmap/>



人工知能(AI)と気候変動緩和ロードマップのドラフト版はICEF2023において発表されました。

人工知能(AI)と気候変動緩和ロードマップは、気候変動対策としてAIの利用が期待されている分野－温室効果ガス排出モニタリング、電力系統インフラ、製造業、材料開発、フードシステム、輸送等におけるAI活用の可能性を探るものです。加えて、AI活用にともなう障壁や課題について検討し、AIが気候変動緩和へ貢献するための道筋を提示しています。

人工知能(AI)と気候変動緩和ロードマップの最終版は、2023年12月にCOP28において発表されました。

「人工知能(AI)と気候変動緩和」

# ICEF第10回年次総会プログラム

1日目 / 10月4日(水)

2日目 / 10月5日(木)

JST	Room1	Room2	Room1	Room2	JST
9:00					9:00
9:30-9:45	開会式		9:30-9:50		9:30-10:30
9:45-10:00	キーノート 1		キーノート 4		その他イベント ICEFロードマッププロジェクト
10:00	10:00-11:40 プレナリーセッション 1 革新的な政策立案		10:00-11:00 コンカレントセッション 3 革新的な再生可能エネルギーの利用		
11:00			11:15-12:15 その他イベント エネルギーランジションに関する特別対話		10:45-12:15 その他イベント BloombergNEF 共催イベント
12:00	11:45-13:00 ウェルカムランチ		12:15-12:15 ランチ		
13:00	13:05-13:10				13:00
	キーノート 2		13:15-14:15 コンカレントセッション 4 持続可能な航空輸送		13:15-14:15 コンカレントセッション 5 核融合テクノロジー
14:00	13:15-14:15 キーノート 3	13:00-14:45 その他イベント NEDOグリーンイノベーション基金事業シンポジウム			14:00
15:00	14:30-16:00 プレナリーセッション 2 公正なGX	15:00-16:00 その他イベント 二酸化炭素除去技術 (CDR)	14:30-15:30 その他イベント 若きイノベーターとの対話		14:30-16:00 その他イベント UNIDO 共催イベント
16:00	16:15-17:15 コンカレントセッション 1 グローバルストックテイク	16:15-17:15 コンカレントセッション 2 食料・水・気候変動	15:45-17:15 サマライジングプレナリー セッション ICEF2023の総括		16:00
17:00			17:15-17:45		17:00
			閉会式		
18:00	ディナー (スピーカー限定)				18:00

<https://www.icef.go.jp/jp/program/>

※10/3 (火) にICEF運営委員会 (2時間)、ICEF運営員用ディナー (2時間) を別途開催



- ICEF運営委員会：  
17名のICEF運営委員が参加し、ICEF年次総会のメインテーマ、セッションテーマ、登壇者候補、ロードマップ、ステートメント等の企画案を議論。事務局は、経産省・NEDO。
- ICEF年次総会：  
ICEF運営委員会で議論された内容に基づき、開会式、キーノート・プレナリー・コンカレントセッション等を実施。毎年10月に都内で実施。

## ICEF運営委員会 (対面又はオンライン)

- ・ 次回ICEF年次総会のテーマ、セッション案等を議論

## ICEF運営委員会 (オンライン)

- ・ ICEF年次総会開催に向けた各セッションの進捗状況等を議論

## ICEF運営委員会 (東京)

- ・ 年次総会本番の直前確認。ステートメント案などを議論
- ・ 原則、年次総会前日に開催

## ICEF年次総会 (東京)

- ・ 年次総会本番
- ・ ステートメント発表、ロードマップ原案発表

3月

6月

10月

## 第11回ICEF年次総会

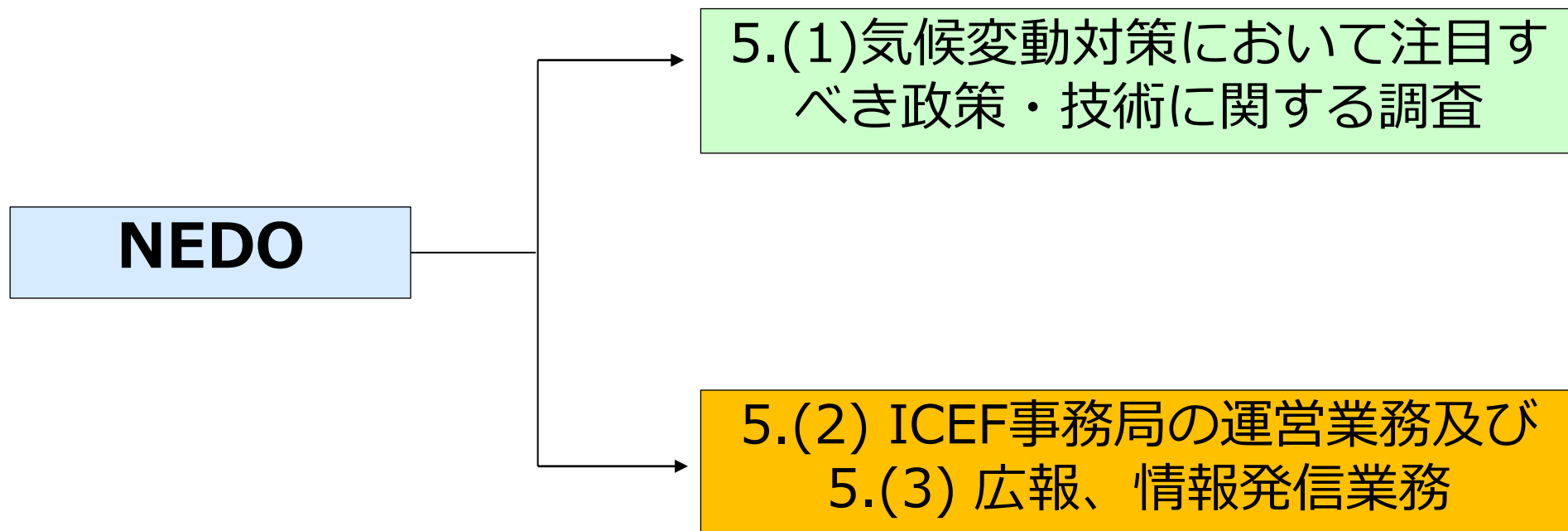
- **日程**：2024年10月9日（水）・10日（木）を予定（ただし、「東京GXウィーク」の開催時期等によっては、日時を変更する可能性がある）。
- **場所**：東京都心部（JR山手線の駅又は同線内側の地下鉄駅を最寄駅とし、最寄駅から徒歩10分以内程度とする）、もしくは、同等の効果・集客が見込める都市
- **主催**：NEDO、経済産業省
- **開催規模**：国内外の有識者約1,700名を想定（オンライン聴衆者を含む）（2023年度実績：対面参加登録 約700名、オンライン参加登録 約1,000名）。
- **開催方式**：登壇者及び聴衆者が対面又はオンラインで参加するハイブリット形式での開催が可能であること。
- **セッション構成**：開会式、キーノート・セッション、本会議、分科会、サイドイベント、閉会式等で構成されると想定。セッション数は、セッションを複数同時開催する場合は、全体で20程度、同時開催がない場合は、15程度と想定。
- **使用言語**：原則、英語（同時通訳手配）

## Ⅱ. 公募概要

(公募要領 p.4)



- 仕様書【5.(1)気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査】、または、【5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務】のいずれかを満たす内容で公募
- 【5.(1)】及び【5.(2)、5.(3)】を合わせて一つの提案とする応募は受け付け不可



### 5.(1)気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

- ① ICEF年次総会等におけるセッションに関連する調査内容
- ② ロードマップに関連する調査内容
- ③ ステートメントに関連する調査内容

### 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

- 5.(2)
- ① 迅速なICEF事務局の立ち上げ
  - ② 運営委員会の運営・手配
  - ③ ICEF年次総会の運営・手配

- 5.(3)
- ① ICEF広報戦略策定及び実施
  - ② 公式ウェブサイト及びオンライン動画配信等の企画運営
  - ③ 広報素材の作成・展示
  - ④ ICEFの普及に関する広報活動

- **委託期間**

NEDOが指定する日から2025年3月31日まで

- **予算規模**

：別紙「仕様書」5.(1) について86,000千円 (以内) (税込み)

：別紙「仕様書」5.(2) 及び5.(3) について217,000千円 (以内)  
(税込み)

- **応募資格**

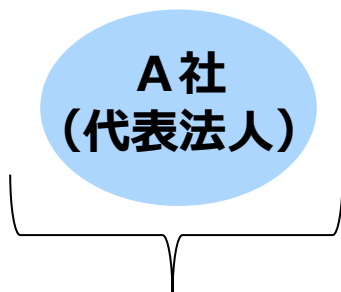
- 本事業への応募資格は、次のa. からd. までのすべての条件を満たすことができる、単独又は複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 環境・エネルギー技術に関する国際的な調査実績および国際的なイベントの運営や大規模会議の運営についてのノウハウや知識を有し、かつ、本事業の内容の遂行に必要な組織、人員を有していること。
- b. 本事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有していること。
- c. NEDOが本事業を実施する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる能力、体制を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- d. 個人情報保護の観点から、個人情報の取り扱いに関する社内規程等が整備されていること。

- 応募資格を満たす提案者は、単独又は共同での提案が可能
- 共同提案の場合は、代表法人を定めて提案
- 「5.(1)」及び【5.(2)、5.(3)】を合わせて一つの提案とする応募は受け付けません

例

単独提案

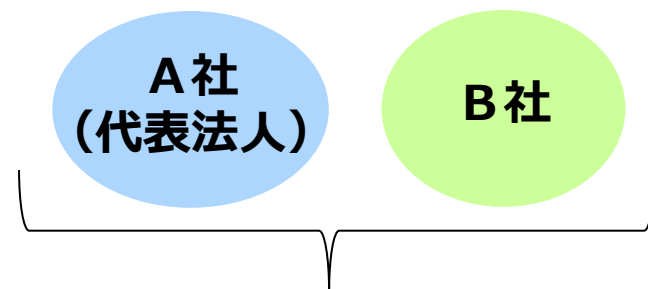


## 5. (1) 気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

- ① ICEF年次総会等におけるセッションに関連する調査内容【担当：A社】
- ② ロードマップに関連する調査内容【担当：A社】
- ③ ステートメントに関連する調査内容【担当：A社】

例

共同提案



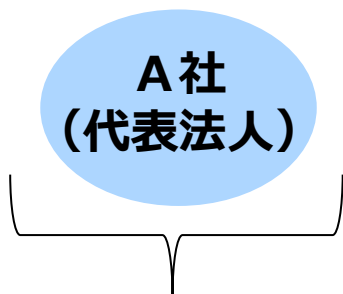
## 5. (1) 気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

- ① ICEF年次総会等におけるセッションに関連する調査内容【担当：A・B社】
- ② ロードマップに関連する調査内容【担当：A社】
- ③ ステートメントに関連する調査内容【担当：B社】

- 応募資格を満たす提案者は、単独又は共同での提案が可能
- 共同提案の場合は、代表法人を定めて提案
- 「5.(1)」及び【5.(2)、5.(3)】を合わせて一つの提案とする応募は受け付けません

例

単独提案



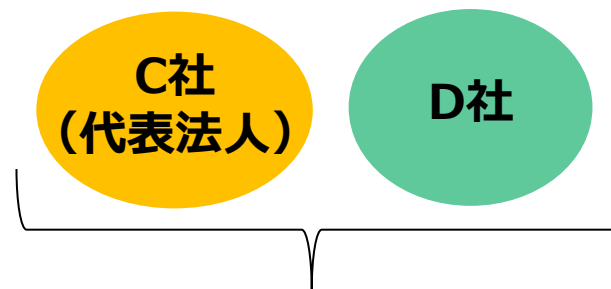
## 5. (1) 気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

- ① ICEF年次総会等におけるセッションに関連する調査内容【担当：A社】
- ② ロードマップに関連する調査内容【担当：なし】
- ③ ステートメントに関連する調査内容【担当：なし】

提案区分を満たしていないので、提案不可

例

共同提案



## 5. (2) ICEF事務局の運営業務

- ① 迅速なICEF事務局の立ち上げ【C社】
- ② 運営委員会の運営・手配【D社】
- ③ ICEF年次総会の運営・手配【C・D社】

## 5. (3) 広報、情報発信業務

- ① 迅速なICEF事務局の立ち上げ【担当：なし】
- ② 運営委員会の運営・手配【担当：なし】
- ③ ICEF年次総会の運営・手配【担当：なし】

提案区分を満たしていないので、提案不可  
(5.(2)と5.(3)は合わせて提案が必要)





## (3) 提出にあたっての留意事項

- 提案書は日本語で作成してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。(受付番号の表示は受理完了とは別です。)
- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

## (4) 提案書の受理

- 「3. 応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出後に提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- 応募サイトで提出書類を提出後に下記のような自動返信メールが届きますが、あくまで受付完了の通知であり、その後、提出された提案書類をNEDOが不備等がないことを確認した後に、提案受理のメールを別途お送りします。
- なお、受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合がありますのでご承知おきください。この場合、提案書その他の書類は、NEDOにて破棄いたします。

From: icef <icef@ml.nedo.go.jp>  
Sent: [REDACTED]  
To: [REDACTED]  
Subject: 受付完了

本メールは、下記の提案書類等をご提出いただいた方へご案内するものです。

提案書類等を確認した後、代表法人連絡担当者Eメールアドレス宛てに、受理完了メールを別途お送りします。  
NEDO 担当者からの連絡をお待ちください。

記

公募名称：2024年度「ICEF」事業公募  
受付番号： [REDACTED]  
受付日時： [REDACTED]

--

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

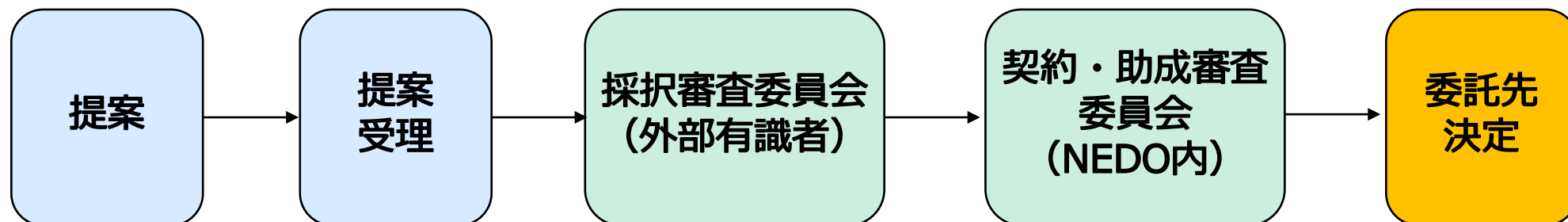
提出書類	提出ファイル形式
提出書 (別添1)	PDF
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (別添2)	PDF
情報管理体制等確認票 (別添3-1、3-2) 及び確認項目5以外のエビデンス	PDF
提出書類チェックリスト (別添4)	PDF
最新の代表者事項証明書の写し (履歴事項証明書、現在事項証明書でも可)	PDF
直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表 (貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書) の写し	PDF (3年分を1つのPDFに統合)
会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) (NEDOと過去1年以内に契約がない場合のみ提出)	PDF (複数ある場合は1つのPDFに統合)
疑義文書 (NEDOから提示した契約書雛形に疑義がある場合のみ提出)	PDF

※ 詳細は別添4「提案書類チェックリスト」をご確認ください。

※ 「提案書 (別添1)」を1つのPDFに統合してアップロードしてください。その他のファイルはまとめて1つのZipファイルにしてアップロードしてください。

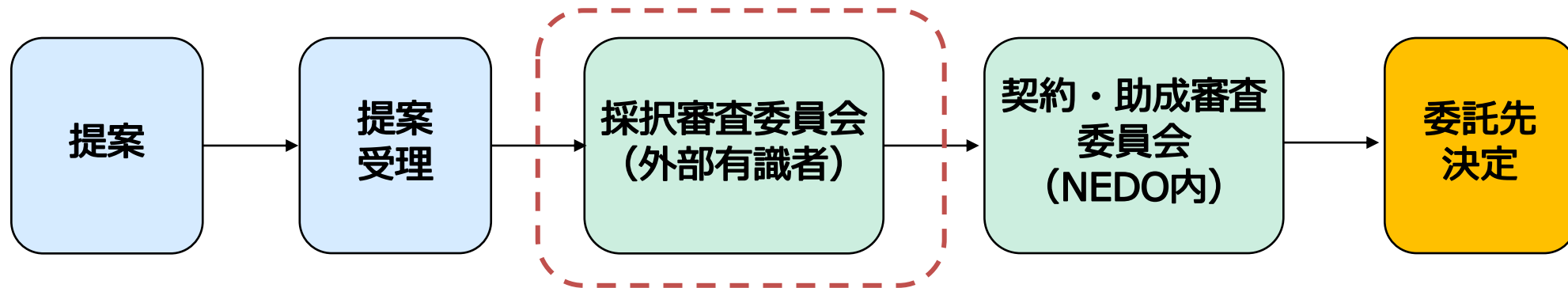
## (1) 審査の方法について

- 提案受理後、外部有識者による「採択審査委員会」とNEDO内の「契約・助成審査委員会」の二段階で審査します。
- 契約・助成審査委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。
- 必要に応じてヒアリング審査や資料の追加等をお願いする場合があります。
- なお、委託先の選定は非公開で行われ、審査の進捗状況等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめ御了承ください。



### (ア) 採択審査委員会

- ① 事業の方法、内容等が優れていること。
- ② 環境・エネルギー技術に関する国際的な調査実績を有すること  
(【5.(1)】の提案者のみ該当)
- ③ 国際的イベントや大規模会議の運営に関する十分な知識やノウハウ等を有すること (【5.(2)及び(3)】の提案者のみ該当)。
- ④ 当該事業を行う総合的な体制が整っていること。
- ⑤ 事業の経済性が優れていること。
- ⑥ 経営基盤が確立していること。
- ⑦ ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況の有無
- ⑧ 総合評価

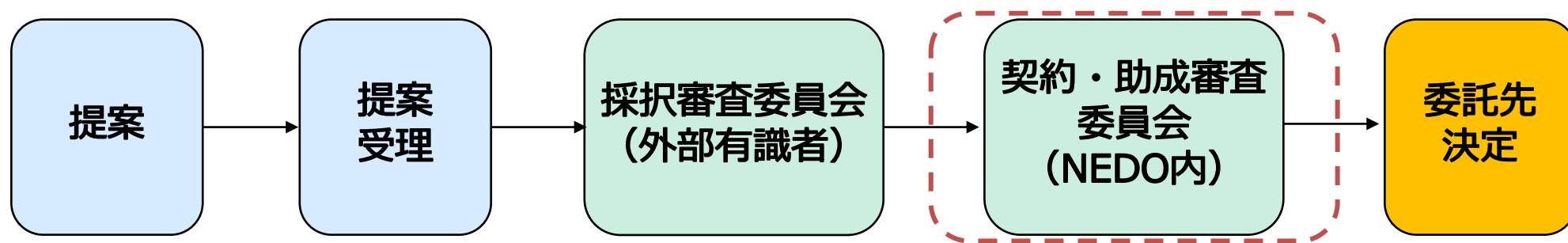


### (イ) 契約・助成審査委員会

- i) 委託業務に関する提案書の内容が次の各号に適合していること。
  - ① 開発等の目標がN E D Oの意図と合致していること。
  - ② 開発等の方法、内容等が優れていること。
  - ③ 開発等の経済性が優れていること。
- ii) 当該開発等における委託予定先の遂行能力が次の各号に適合していること。
  - ① 関連分野の開発等に関する実績を有すること。
  - ② 当該開発等の行う体制が整っていること。
  - ③ 当該開発等に必要な設備を有していること。
  - ④ 経営基盤が確立していること。
  - ⑤ 当該開発等に必要な研究者等を有していること。
  - ⑥ 委託業務管理上N E D Oの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

なお、委託予定先の選考に当たってN E D Oは、以下の点を考慮します。

- ① 優れた部分提案者の開発等体制への組み込みに関すること。
- ② 各開発等の開発等分担及び委託金額の適正化に関すること。
- ③ 競争的な開発等体制の整備に関すること。
- ④ 一般社団法人若しくは一般財団法人又は技術研究組合等を活用する場合における役割の明確化に関すること。



## (3) 委託先の公表及び通知・スケジュール (公募要領 p.9)

### ① 採択結果の公表等

採択した案件（実施者名、事業概要）はNEDOのウェブサイト等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

### ② 採択審査員の氏名の公表について

採択審査員の氏名は、採択案件の公開時に公開します。

### ③ 附帯条件

採択に当たって条件を付す場合があります。

### ④ 採択までのスケジュール

2024年1月26日（金）		： 公募開始
2月26日（月）	正午	： 公募締め切り
3月12日（火）	（予定）	： 採択審査委員会
3月下旬	（予定）	： 委託先決定、結果公表
4月	（予定）	： 契約締結

## 5.(1)気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

### ① ICEF年次総会等におけるセッションに関連する調査内容（抜粋）

- 各セッション（開会式、キーノート・セッション、本会議、分科会、サイドイベント、閉会式等）の登壇候補者の提案及び登壇者確定までの調整、年次総会に向けた事前打ち合わせ対応（資料作成含む）、年次総会当日及び事後対応
- ICEF運営委員会、ICEF国内幹事会（※）におけるICEF年次総会のセッション関連資料等の作成

（※）ICEF国内幹事会は、ICEFの運営委員（日本在住）とICEF事務局の会議を指す



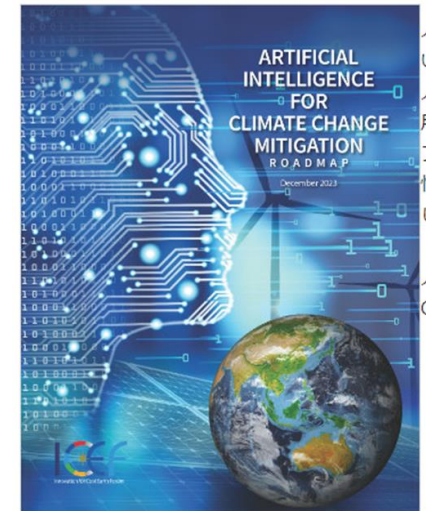
- ICEF年次総会開催に向けた、各セッションの企画、登壇候補者の提示、登壇候補者への登壇依頼、セッション関連資料作成、登壇者との事前打ち合わせの実施
- ICEF運営委員会・年次総会・国内幹事会の当日・事後対応（資料作成、議事録作成、事後報告パンフレット作成等）



## 5.(1)気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

### ②ロードマップに関連する調査内容（抜粋）

- ICEFロードマップの作成にあたっては、ICEF運営委員、国内外有識者、主催者と内容等に関して綿密な調整を行う。また、ロードマップの普及に寄与するイベント（COP29等）への参加及び関係者との調整等を実施する。



「人工知能(AI)と気候変動緩和」



※ICEFロードマップ本文の作成は、ICEF運営委員が実施予定

- ICEF運営委員、NEDO・経産省等とのロードマップに関する連絡・調整
- ロードマップの内容確認、解説資料作成等
- ロードマップの成果発表イベント（COP29等）の企画・調整業務等

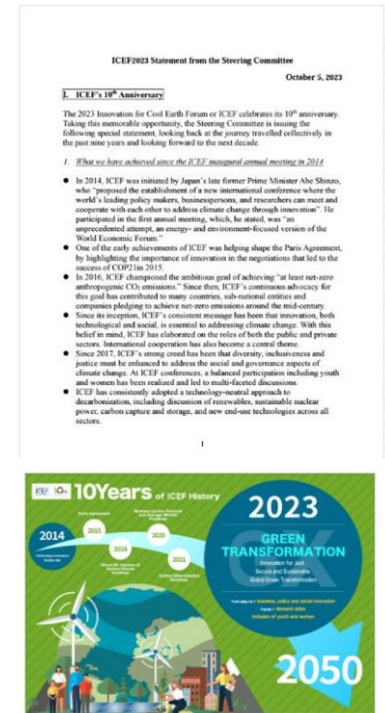
## 5.(1)気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査

### ③ステートメントに関連する調査内容（抜粋）

- ICEFステートメント（\*）の作成にあたっては、ICEF運営委員、主催者と内容等に関して綿密な調整を行う。
- また、ステートメント作成時は、IPCC、COP等での発表資料等を参照して作成し、ネイティブチェックも行うこと（完成版は日本語の仮訳も作成すること）。また、ステートメント本文を視覚的に表現したインフォグラフィックスの作成について、5.(2)・(3) 業務の受託事業者と調整を行うこと。



- ICEF運営委員、NEDO・経産省と協議し、ステートメント原案を作成、各種意見を踏まえて修正
- 英語版（ネイティブチェック含む）・日本語の仮訳の作成
- インフォグラフィックスの作成に関するフォーラム運営・広報業務受託者との調整



## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(2) ①迅速なICEF事務局の立ち上げ（抜粋）

- 本事業全体の工程計画を含む各種工程計画の策定
- ICEF運営委員、登壇者、主催者への各種連絡・調整
- 主催者と委託先間での資料共有を目的とした情報共有システムの手配（2023年度はファイル共有サービスの「BOX」を利用）
- 大使館・領事館、環境・エネルギー関連団体等に対するICEFへの参加依頼や各種連絡・調整
- 登壇者、賓客等向け招待状・御礼状の作成・送付
- 参加登録システムの構築、登録データ管理、登壇者情報のデータ管理、データメンテナンス等に係る付随業務
- 参加者の取りまとめ（スクリーニング業務を含む）、名簿の作成
- 国内外からの登壇者の招へいに係る業務（航空券手配・宿泊手配含む）
- 運営委員の招へい、ICEF関連イベントへの出席に係る業務（航空券手配・宿泊手配含む）



- ICEF年次総会開催に向けた事務局運営、ロジスティックス業務全般
- 主催・登壇者・一般参加者等との連絡調整業務

## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(2) ② ICEF運営委員会の運営・手配（抜粋）

- 主催者の指示に基づき、ICEF運営委員会を運営すること。また主催者の指示に基づき、運営委員会に出席すること（状況に応じてオンライン会議や同システムを併用するハイブリッド形式も想定）。なお、運営委員会は、国内外での対面開催又はオンライン開催で年3回程度を予定している（開催時期は3月、6月、10月を想定。なお、10月はICEF年次総会前日もしくは当日に開催予定）。
- 対面開催の場合は主催者の指示に基づき、国内外の適切な会場を手配すること。
- 運営委員との連絡・調整、必要に応じて招へいに係る業務を実施すること。
- 資料等の準備をすること（作成、印刷（ペーパーレスで行う場合は、資料閲覧用タブレット端末等の手配）、輸送等含む）。
- 議事録の作成をすること。



- ICEF運営委員会（年3回：各2～3時間程度）の運営補助
- 開催形式：3月（対面又はオンライン）、6月（オンライン）、10月（東京）を予定
- ICEF運営委員との連絡・調整業務
- ICEF運営委員会の資料作成は、主に経産省・NEDO、5-(1)受託者が対応

## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(2) ③ ICEF年次総会の運営・手配（抜粋）

- A. 会場手配  
条件：  
東京都心部（JR山手線の駅又は同線内側の地下鉄駅を最寄駅とし、最寄駅から徒歩10分以内程度とする）、もしくは、同等の効果・集客が見込める都市
- (ア) セッション会場
- セッション会場として、登壇者以外に、スクール形式で400名程度を収容できること。また、セッションを複数同時開催する場合は、分科会及びサイドイベント向けに登壇者以外に、200名程度を収容できること。



- 2024年度の年次総会の会場決定、2025年度の年次総会の会場候補リストアップ、仮予約
- セッションが同時並行なしの場合は、400名程度収容の部屋のみの手配で可
- 2023年度の年次総会運営・手配の詳細は、「B.～E.」を参照

## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(3) 広報、情報発信業務

#### ① ICEF広報戦略策定及び実施（抜粋）

- ICEFに関する全体及び個別事項に関する広報戦略・スケジュールの策定。
- 具体的には以下の内容を含めること。
- 知名度向上を図る広報手法の策定及び検討。印刷物、メディア向け広報物、
- ソーシャルメディア、外部イベント等を活用したICEFの広報活動案
- 対面参加者増を主とした、ICEFへの参加申込者の増加（メディアを含む）を図る手法
- 国内外有識者・メディアによるICEF関連記事の増加を図る手法
- 環境・エネルギー分野に関心がある若者世代への訴求方法



- 2024年度のICEF年次総会の参加者数増加、メディアでの露出増加に向けた広報戦略の策定（一般参加者用、報道関係者用）
- ICEFの認知度向上に向けた戦略策定・実施（例：若手世代への訴求等）
- ICEFのソーシャルメディアアカウント（Linked-In、YouTube）の運用

## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(3) 広報、情報発信業務

#### ②公式ウェブサイト及びオンライン動画配信等の企画運営（抜粋）

- ICEF公式ウェブサイト（<https://www.icef.go.jp/> 日本語版・英語版）・公式ソーシャルメディア（以下、「公式ウェブサイト等」という。）の全体構成等の企画・運営（更新及び保守等）、メディア・一般向け広報物の作製を実施すること。
- 会場での収録とインターネット配信
- 公式ウェブサイト等へのICEF年次総会開催結果の掲載
- 公式ウェブサイト等のアクセス解析
- メールマガジン（ICEFニュース）、ソーシャルメディア等の運用



- ICEF公式ウェブサイトの更新（プログラム、登壇者、講演資料等）
- 年次総会の収録、インターネット配信、YouTubeへの事後掲載
- 公式ウェブサイトのアクセス解析
- メールマガジンの配信（日・英）、ソーシャルメディアの運用

## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(3) 広報、情報発信業務

#### ③ 広報素材の作成・展示（抜粋）

- (ア) パンフレット等の作成等（日本語版・英語版）
  - 主催者が提供する情報を元に基本となるキーデザインを作成し、公式ウェブサイトデザイン、パンフレット、フライヤー、ポスター、展示用広報素材など全般にわたるデザイン、図表、写真等の迅速な作成・レイアウト、並びに主催者の指示に従った必要数の印刷をおこなうこと。
- (イ) テープ起こし原稿の作成・翻訳
- (ウ) ステートメントに関するインフォグラフィックスの作成
  - 5.(1) ③のステートメント本文を視覚的に表現したインフォグラフィックスを当該業務の受託事業者及びデザイナー等と共に作成・調整すること



- ICEFのキーデザイン策定、当日配付用パンフレット、年次総会終了後の成果報告のパンフレット等の作成
- 成果報告パンフレット作成要のテープ起こし原稿の作成・翻訳
- ステートメントのインフォグラフィックスの作成・調整



## 5.(2) ICEF事務局の運営業務及び5.(3) 広報、情報発信業務

### 5.(3) 広報、情報発信業務

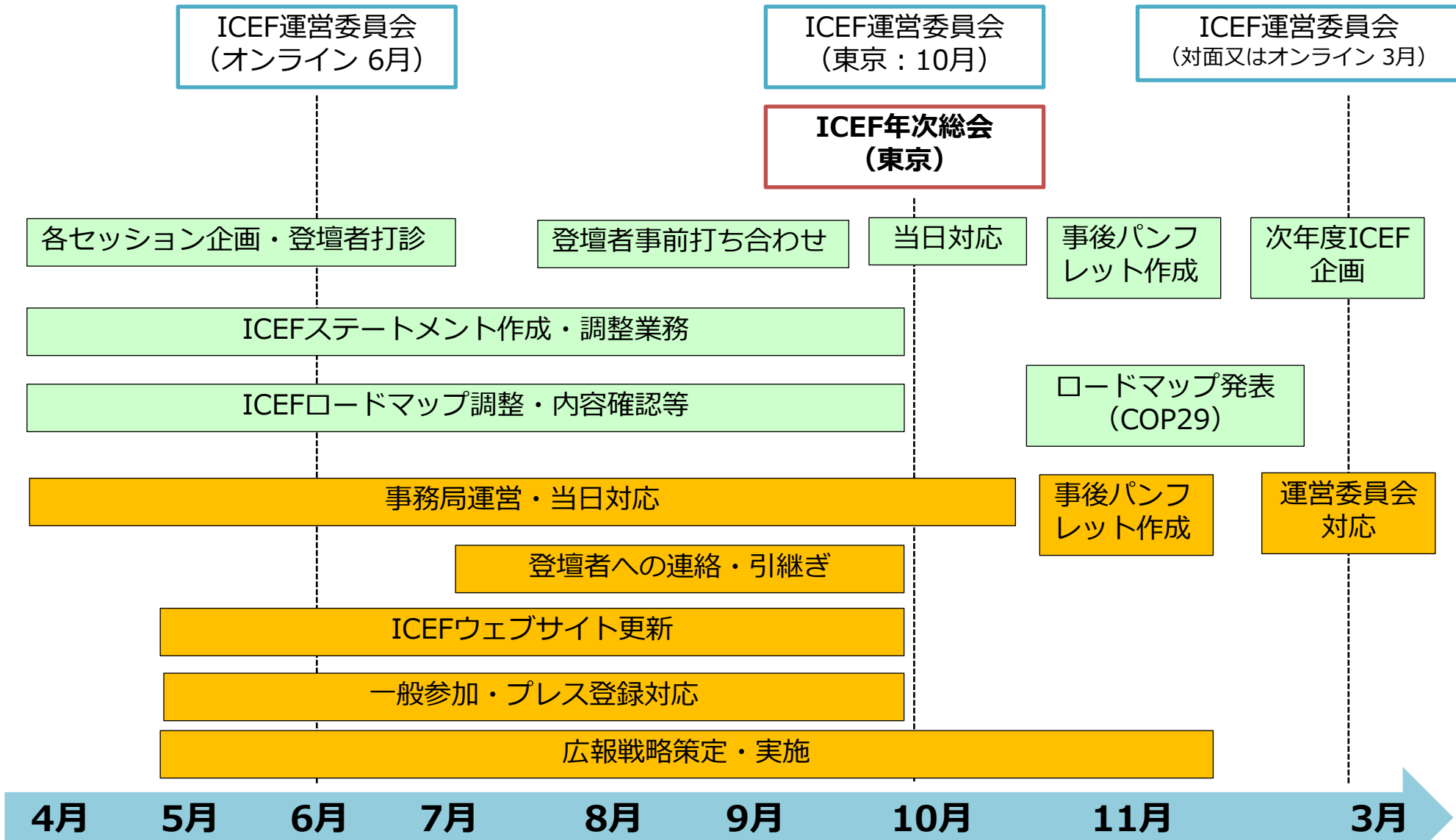
#### ④ ICEFの普及に関する広報活動（抜粋）

- 国内外のエネルギー・環境関連イベントの機会を活用したICEFの普及を目的とするワークショップ等の開催、参加、出展に伴う広報及び付帯業務を行うこと（年間3回程度。ワークショップ等の開催、参加、出展に関する他機関等との契約行為を含む）。
- また、主催者の指示に基づき、当該ワークショップ等に参加すること。なお、各ワークショップ等には運営委員等の参加を想定しており、資料作成及び出張手続きにあたって、直接、関係者との連絡・調整が必要となる場合があることに留意すること。



- ICEF年次総会開催前・開催後の広報イベント・ワークショップ等への参加調整・契約行為等
- 2023年度は、「環境ビジネスオンライン」のセミナーにICEF田中委員長が登壇、ICEF関係の記事を発行

## 2024年度の業務スケジュール（イメージ）



# V. 提案書作成に関する補足説明

(別添1) 提案書



## ● 「別添1」提案書の記載内容に従って、作成してください。

- 共同提案の場合は、表紙は提案者毎に作成してください。
- 提案者の表紙には、提案者名、代表者名、所在地を正確に記入してください。
- 斜体文字は提出時に削除してください。
- 業務管理者、連絡担当者情報についても漏れなく記入してください。
- A4サイズでPDFで提出してください。(作成時は、PowerPoint等の別ソフトで作成いただいても構いません)
- 「4. 提案する方式・方法の内容」の項目を意識して、提案書を作成してください。

別添1

**※斜体文字は提出時に削除してください。**

2024年度「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF) の実施に係る国際連携及び情報発信等事業」に対する提案書

年 月 日

調査テーマ  
「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF) の実施に係る国際連携及び情報発信等事業」

【(1) 気候変動対策において注目すべき政策・技術に関する調査】  
【(2) ICEF事務局の運営業務及び(3) 広報、情報発信業務】

■提案する調査項目のみ記載を教えてください。

上記の件について貴機関の調査事業を受託したく、下記の代表者名にて提案させていただきます。

提案者名 *〇〇〇〇株式会社 (法人番号)* ■法人番号は、国税庁の法人番号公表サイト (<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>)などを引用し記載してください。(13桁)

代表者名 *代表取締役社長* 〇 〇 〇 〇

所在地 *〇〇県△△市*..... (郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇)

業務管理者及び連絡担当者

業務管理者 (フリガナ) 氏名: 所属: 役職:	<連絡先> 所在地:(郵便番号、住所) TEL : E-mail :
連絡担当者 (フリガナ) 氏名: 所属: 役職:	<連絡先> 所在地:(郵便番号、住所) TEL : E-mail :

・複数事業者による共同提案を行う場合、本表紙を提案者毎に作成してください  
・提案書は、A4サイズで印刷可能なサイズとしてください。  
・NEDOが提示する仕様書に沿った内容にて提案してください。

- 本公募の内容や契約に係るご質問については、本公募資料をご確認いただいた上で、**2024年2月22日（木）正午**まで下記宛てにご連絡ください。
- 希望者は、2024年2月22日（木）正午までオンラインにて面談も受け付けますので、公募ページに記載の申込方法にてご連絡ください。
- ただし、審査の進捗状況等に関するお問い合わせには応じられません。

## (問い合わせ先)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

国際部ICEF担当：藤波、野呂、鈴木（悠）

E-mail : [international@ml.nedo.go.jp](mailto:international@ml.nedo.go.jp)